

Exhibition
The Legend of OYA Stone:
Modern Architecture and Culture of Utsunomiya
<http://ishinomachi2017.jp/>

宇都宮美術館開館20周年・市制施行120周年記念

街 うつのみや

大谷石をめぐる近代建築と地域文化



【主催】宇都宮美術館／下野新聞社【特別協力】大谷石材協同組合／大谷石内外装材協同組合／大谷石研究会／大谷石産業
【協力】宇都宮大学農学部 地質学研究室【後援】宇都宮商工会議所／宇都宮まちづくり推進機構

展覧会概要

宇都宮美術館開館20周年・市制施行120周年記念

「石の街うつのみや——大谷石をめぐる近代建築と地域文化」

今からおよそ 1,500 万年前、わが街・宇都宮は海の底でした。日本列島に命を与えた海底火山が旺盛に噴火した頃のことです。その際に水中で噴出した大量の軽石流が堆積し、長い時を経て岩石（凝灰岩）となり、早くも古墳時代には石室の材料、その後、身近な石として利用されるようになりました。さらに年月は下って江戸時代になると、その石を生業として採掘する人々がわが街の近郊に現れます。

しかし、石を掘り、切って運ぶ産業と、石を大々的に使った建造物が芽吹いたのは、実のところ鉄道・軌道網の整備が進み、わが街が近代都市として発展を遂げた明治末期から大正時代にかけてだったのです。また、1923 年（大正 12）に起こった関東大震災を機に、石と鉄筋コンクリートによる新しい建築（フランク・ロイド・ライト「旧・帝国ホテル ライト館」）の強靱さが注目され、震災復興のために量産・安定供給もできたことから、この石——「大谷石」は、わが街に独自のモダンな地域文化を生み出しました。

それは、ライトと同時代、すなわち昭和戦前から高度成長期に活躍した地域の建築家の業績、彼らに貢献した石工たちの仕事、産業界の盛り上がりとともに石で彩られた街の独自の景観、石を産した里の自然と石切りが織り成す特異な風景、そして、これらの記録と、インスピレーションを受けた地域にゆかりの美術家たちの作品というかたちで、今日まで遺されています。本展は、大谷石に育まれた「石の街うつのみや」の近い過去に焦点を当て、石の建造物（建築・土木）を「地域の近代デザイン史／産業文化史」として読み解き、私たちの石の街・里がどのように表現・発信されたのかを、岩石標本、石材サンプル、採石・加工道具、建築図面・模型、地図、書籍、定期刊行物、観光絵葉書、記録写真、美術作品、撮り下ろしの映像番組などによって紹介します。

あわせて、美術館ではジャズ・コンサートと建築シンポジウム、市民ギャラリーでも写真展を行い、これらのイベントを通じて、「石の文化」に幅広く触れる機会を設けます。

2017年 1/8 回 → 3/5 回

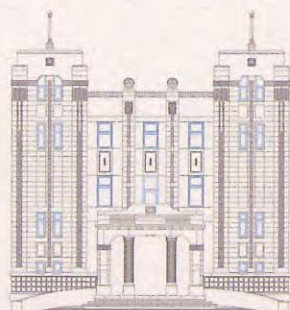
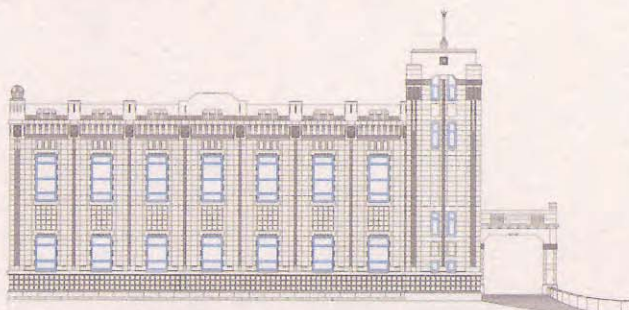
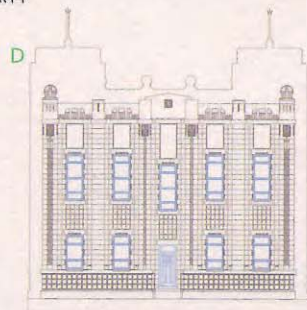
【開館時間】— 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

【休館日】— 毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

【観覧料】— 一般 600 円（480 円）、

大学生・高校生 400 円（320 円）、中学生・小学生 200 円（160 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金 ※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者（1 名）は無料 ※宇都宮市在学または在住の高校生以下は無料 ※毎月第 3 日曜日は「家庭の日」です。高校生以下の方を含むご家族で来館された場合、観覧料が一般・大学生は半額、高校生以下は無料



【主催】— 宇都宮美術館／下野新聞社

【特別協力】— 大谷石材協同組合／大谷石内外装材協同組合

【協力】— 大谷石研究会／大谷石産業／宇都宮大学農学部 地質学研究室

【後援】— 宇都宮商工会議所／宇都宮まちづくり推進機構

A. 岡本眞典《石切場》| 1960 年 | 鎌倉区立美術館蔵

B. 記録写真《露天平場掘りの採石場》| 1950 年代後半 | 大谷石材協同組合蔵

C. 岩石標本《大谷石》| 国立科学博物館蔵

D. 旧・宇都宮商工会議所 東・南・西立面図 | 建物竣工 1928 年

E. 日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会 | 建物竣工 1933 年



関連事業

FIG

1. ジャズ・コンサート「石の街はジャズの街」

【日時】 2017年1月22日(日) 午後2時(開場・午後1時30分)～午後4時

【会場】 宇都宮美術館 講義室

【定員】 170名(先着) ※企画展チケットをお求めのうえ、会場に直接ご入場ください

【出演】 高橋幹夫グループ+増淵淳子(ヴォーカル)

【講師・司会】 武井貴志氏(建築家、テイクス設計事務所、宇都宮市民ジャズオーケストラ)

【内容】 本展の「関連事業」の皮切りは、「石の街うつつのみや」出身のミュージシャンによるジャズ・コンサートです。「石の空間性・その静けさや神秘」を感じさせる曲や即興演奏の間には、大谷石に詳しく、自ら音楽活動も展開している講師が「石と音楽の出逢い」に関するレクチャーを行います。

【問い合わせ先】 宇都宮美術館 TEL.028-643-0100(代)

F. 高橋幹夫(ドラム)
G. 増淵淳子(ヴォーカル)

2. 宇都宮美術館 サテライト企画展

Vol.008「大洲大作・写真の仕事——石の街」

【日時】 2017年1月19日(木)～2月5日(日)

【会場】 市民ギャラリー(うつつのみや表参道スクエア市民プラザ5階)

【開館時間】 午前10時～午後6時

【休館日】 なし

【観覧料】 無料

【内容】 「関連事業」の二回目は「写真展」です。「石の街うつつのみや」展のために、2014年の秋から約2年をかけて、アーティストの大洲大作氏が撮り続けてきた写真から、精選した作品で構成します。「写真をメディウムとし、風景に人の営みを見ること」を追求する作家が捉えた「石の街」の表情は、どれも身近でありながら、多くの発見に満ちています。

【トーク・イベント】

1月29日(日) 午後2時～担当学芸員によるギャラリー・トーク

2月5日(日) 午後2時～大洲大作氏によるアーティスト・トーク

【問い合わせ先】 宇都宮美術館 TEL.028-643-0100(代)

市民ギャラリー TEL.028-616-1573

H. 立岩 | 2016年 | 宇都宮市大谷町
I. 宇都宮二荒山神社の大谷石垣 | 2016年 | 宇都宮市馬場通り

3. シンポジウム「凝灰岩と近・現代建築——国際性と地域性」

【日時】 2017年2月26日(日) 午後2時(開場・午後1時30分)～午後4時

【会場】 宇都宮美術館 講義室

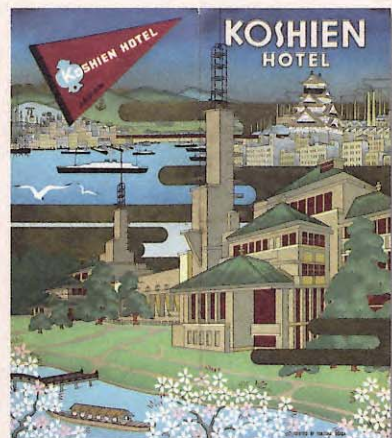
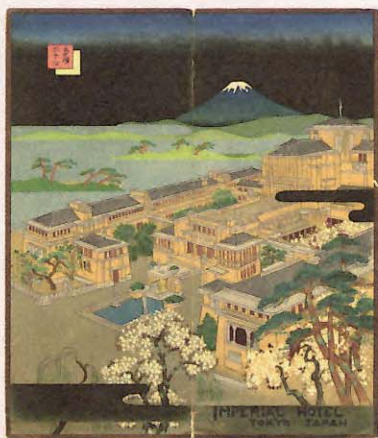
【定員】 170名(先着) ※企画展チケットをお求めのうえ、会場に直接ご入場ください

【パネリスト】 中川 武氏(博物館明治村館長)、三宅正弘氏(武庫川女子大学生活環境学部准教授)、藤原宏史氏(建築家、藤原設計事務所)、橋本優子(宇都宮美術館主任学芸員)

【内容】 近代建築史に於ける「凝灰岩」の登場は、明治政府による国会議事堂建設のための「全国石材調査」に遡ります。その成果報告と岩石標本を目にしたフランク・ロイド・ライトは、当初は大谷石でなく、石川県産の凝灰岩「蜂の巣石」を「旧・帝国ホテル ライト館」で使うことを考えました。産出量や輸送の便などを考慮した結果、栃木県産の「大谷石」が選ばれ、地域内外の建築家に大きな影響を与えますが、ライトの愛弟子だった遠藤 新は、さらに別の凝灰岩「日華石」(石川県産)を用い、旧・帝国ホテルと並び称される「旧・甲子園ホテル」を完成しました。「関連事業」の三回目となる本シンポジウムでは、こうしたエピソードを踏まえて、「国際性」と「地域性」をキーワードに、近・現代に於ける凝灰岩建築の特色を探ります。

【問い合わせ先】 宇都宮美術館 TEL.028-643-0100(代)

J. THE IMPERIAL HOTEL 表紙 | 昭和初期 | 個人蔵
K. KOSHIEEN HOTEL 表紙 | 昭和初期 | 武庫川女子大学 甲子園会館蔵



4. 担当学芸員によるギャラリー・トーク

【日時】 会期中毎週土曜日 午後2時～

※企画展チケットをお求めのうえ、中央ホールにお集まりください

交通案内

宇都宮美術館

●JR 東京駅から東北新幹線「JR 宇都宮駅」下車(約 50 分)
→JR 宇都宮駅西口 5 番バス乗り場から関東バス
「豊郷台・帝京大学経由 宇都宮美術館」行き終点下車(約 25 分)、
またはタクシー(約 20 分)
●東北自動車道「宇都宮インターチェンジ」から約 10km、
「鹿沼インターチェンジ」から約 14km、
北関東自動車道「上三川インターチェンジ」から約 19km
●無料駐車場有
〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 1077 番地
TEL.028-643-0100(代) | FAX.028-643-0895
<http://u-moa.jp>

市民ギャラリー(中心市街地)

●JR 東京駅から東北新幹線「JR 宇都宮駅」下車(約 50 分)
→JR 宇都宮駅西口から関東バス 1 番・2 番・6 番・7 番・8 番・
10 番・11 番・12 番・13 番バス乗り場に発着する多くの路線で
「馬場町二荒山神社前」下車(約 5 分)、徒歩すぐ
●東武鉄道新栃木駅から東武宇都宮線
「東武宇都宮駅」下車(約 40 分)、徒歩 10 分
●うつのみや表参道スクエアには立体駐車場(最初の30分は無料、
以降30分毎200円)が併設されています
●中心市街地は、宇都宮市役所駐車場(無料)も便利です
〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り 4-1-1
うつのみや表参道スクエア 市民プラザ 5 階
TEL.028-616-1573
<http://www2.ucatv.ne.jp/~ufairy-m/>

路線バス時刻表

JR 宇都宮駅発	宇都宮美術館着	宇都宮美術館発	JR 宇都宮駅着
△6:00	6:24	△6:26	6:50
6:20	6:44	6:46	7:10
8:00	8:28	▲7:06	7:30
8:40	9:07	8:31	8:58
9:15	9:42	9:10	9:37
9:55	10:22	9:45	10:12
10:22	10:49	10:25	10:52
11:15	11:42	10:55	11:22
11:40	12:07	11:45	12:12
13:15	13:42	12:15	12:42
14:15	14:42	13:50	14:17
15:05	15:32	14:50	15:17
15:55	16:22	15:35	16:02
16:45	17:14	16:32	16:59
17:22	17:51	17:17	17:44
17:50	18:19	18:00	18:27
▲18:00	18:29	18:22	18:49
18:45	19:14	▲18:32	18:59
20:50	21:17	19:17	19:44
21:30	21:54	21:19	21:43
—	—	21:56	22:20

△印は日曜・祝日運休、▲印は土曜・日曜・祝日運休です。
到着時間は曜日及び道路状況により前後することがございます。

[図面制作] 模型工房「さいとう」=p.2 D
[写真] 大洲大作=表紙+p.2 E+p.3 H, I ©Daisaku Oozu
p.3 F ©Mikio Takahashi | p.3 G ©Junko Masubuchi
[デザイン] 勝井三雄(勝井デザイン事務所)+大六野雄二(エッジ・デザインオフィス)
©2016 Utsumiya Museum of Art
無断複製・転載を禁ず Printed in Japan, all rights reserved.



●栃木県立美術館のご案内

「額装の日本画」

2017年2月25日(土)～4月2日(日)

詳細は栃木県立美術館にお問い合わせください。

TEL.028-621-3566



〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077番地

TEL.028-643-0100[代]/FAX.028-643-0895

ホームページ・アドレス ≡ <http://u-moa.jp>